

認知症キッズサポーター養成講座 ③西区 西陵小学校



平成26年12月10日

4年生のみんなと学びました。

認知症の人への関わり方を紙芝居と役で学びました



お父さん役

どんな接し方が
いいのかな...

デイサービスの
職員さん役

お母さん役

パワーポイントに実
際の紙芝居が映し出
されています。その人
になりきってシナリオ
を読んでいただいで
います。

主人公のウメ
おばあちゃん役

一緒に暮らしている
お孫さん役(兄)

一緒に暮らしている
お孫さん役(妹)

講座終了後の感想文です。

認知症について学んで、お年寄りに優しくしたい、否定したり、怒ったりしないなど多くの意見がありました。

認知症の学習を入り口にして、からだの不自由な方やお年寄りにも優しく接するという広がりが見られ、子どもの学びの深さを感じますね。

学習して、にんちしょうはとこもこわいなと思いました。にんちしょうを悪化させない方法などを教えていただいたので、役立てたいと思います。自分にできることはすべてやり、体の不自由な方、お年寄りの方にやさしくせたいです。

4年生【 男 女 ←どちらかに○を付けてください】

ぼくはにんちしょうという言葉はしていましたが、
でもものおすれかとしても家になるということは、
外にいる時家への帰道をおすれたら、
家に帰れなくてそのままになっているかもしれ
ません。そんな時「どうしたんですか」ということが
大事だと思わなくて大事だと思いました。

相手が「いたこと」をひていしたりおこったりすると
認知症の病気があかすということをはじめて
知りました。私はこの勉強から認知症の方には
やさしく相手の気持ちになって考えてみようと思
いました。認知症になると家族のことも
わすれたり、月日や場所もわからなくなるから
できるだけたくさんの人に認知症になってほしく
ないと思いました。

4年生【男 女 ←どちらかに○を付けてください】